

令和 2 年国勢調査の結果

国勢調査は、人口や世帯の実態を明らかにすることを目的として、日本に住むすべての人を対象にして実施されるとても重要な調査です。この調査結果は、少子高齢化対策や防災関連などの各種行政施策に活用されるだけでなく、さまざまな調査・研究の基礎資料としても活用されます。

今回、令和 2 年 10 月 1 日を基準日として行われた調査結果をお知らせします。

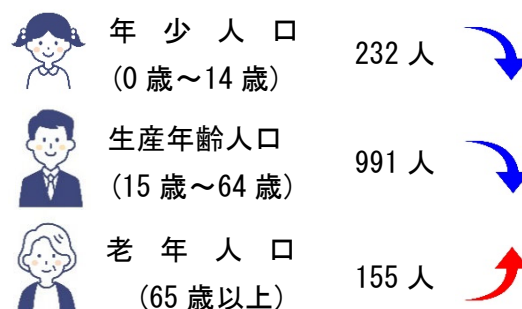
令和 2 年国勢調査結果

町の人口 11,094 人
(平成 27 年調査から-900 人)

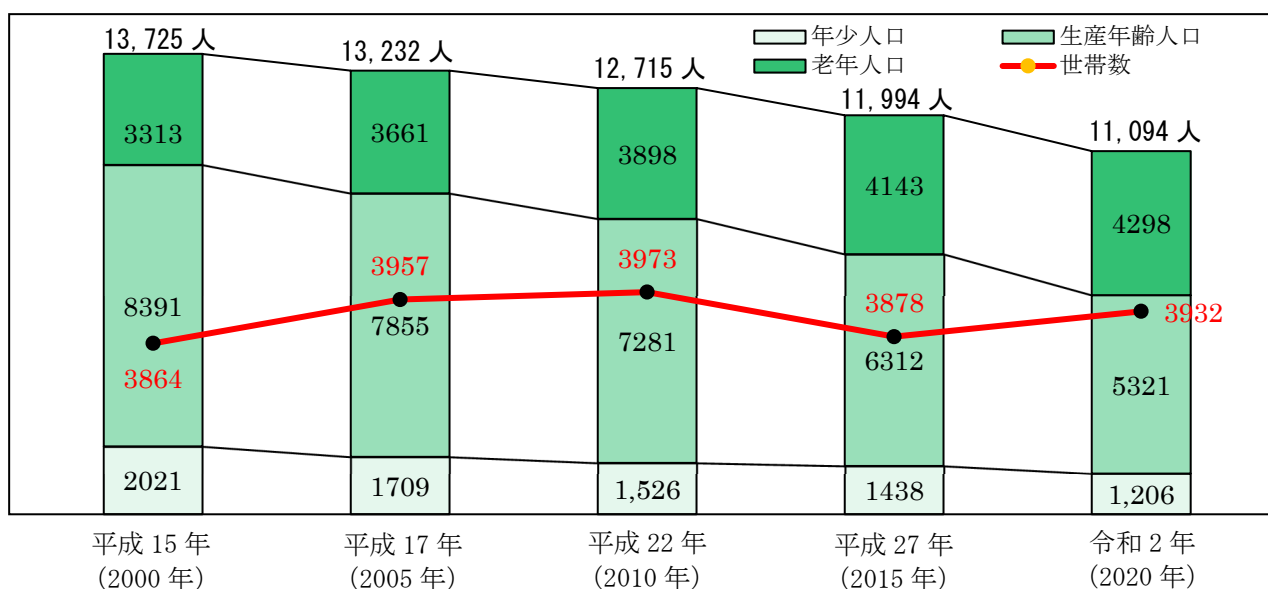
世帯数 3,932 世帯
(平成 27 年調査から+54 世帯)

※実際に町に居住している人口と世帯数であるため、住民登録上の数値とは異なります。

5 年前との比較



町の人口と世帯数の推移



※人口総数は年齢不詳の数を含むため、年齢別人口の合計とは一致しません。

人口減少をくい止めるために・・・

町の人口は、この 20 年で 65 歳以上が約 3 割増加した反面、65 歳以下は約 4 割減少しており、人口減少・少子高齢化社会が進んでいることがわかります。

町は、令和 2 年に策定した「第 2 期氷川町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」において、2060 年時点の人口を 7,000 人以上維持することを目標としており、地域産業振興事業や移住・定住促進事業、子育て支援事業など、さまざまな対策を行っています。

今回の調査結果をもとに、今後も皆さんが住み続けたいと思うまちづくりに取り組んでいきます。